

主催：松山ベテル後援会

日野原重明氏 講演会

「ホスピスの新しい考え方とその利用」



とき

2009年

9月13日(日)

13:00開場 13:45開演

入場
無料

ところ

聖カタリナ女子高等学校 白ゆり館
(松山市藤原町468:藤原校舎)

- どなたでもご参加頂けます。
(お申込みは不要です。)
- 会場は土足厳禁ですので、なるべく上履きをご持参下さい。
- 駐車場はありません。公共の交通機関または近隣の駐車場をご利用下さい。

1911年山口市生まれ。現在、聖路加国際病院理事長・同名誉院長、聖路加看護大学名誉学長。財団法人ライフ・プランニング・センター理事長。日本音楽療法学会理事長。戦後、日本に米国医学教育を導入し、医学・看護教育に尽力した。患者参加型医療・予防医学・終末医療の推進などに貢献した。1993年、日本で最初の独立型ホスピスを創設。成人病を「習慣病」と名づけ、新語「生活習慣病」のきっかけとなった。2000年に日本の高齢化に向けて「新老人の会」を結成、会長に就任。次世代に平和といのちの大切さをのべ伝える意味で「いのちの授業」を全国の小学校で展開中。1999年、文化功労者顕彰、2005年、文化勲章受章。

【主要著作】

「死をどう生きたか」(中公新書、1983年)「老いを創める」(朝日新聞社、1985年)「生きかた上手」(ユーリーグ、2001年) 他著書多数。
最近刊には「十歳のきみへ」(富山房インターナショナル)「いま 伝えたい大切なこと」(NHK出版、2008年)

Shigeaki Hinohara

お問合せ

松山ベテル後援会

事務局

(松山ベテル病院内)

TEL:(089)925-5000

FAX:(089)925-5599

E-mail

kouenkai@bethel.or.jp

ホームページ

http://www.bethel.or.jp

